

母の日のプレゼントを振り返っていると、初めて字が書けるようになって長女から「おめでとういけん」をもたらした時、母としての喜びをかみしめました。

小学生になると子供たち3人でおこづかいを貯めて買ったカーネーションの花束を、誇らしげにプレゼントされ、涙を流したのも懐かしい日々。そして社会人になり、お給料をもらえらるようになった子供たちは「お母さん、欲しいものはある？」と得意げに言ってくれたこと。子供たちの成長した姿が嬉しかったのも、ついこの前だったような気がします。

そして、結婚し、子供ができて、母になった娘は、子供からもらった母の日のプレゼントの話を嬉しそうに話してくれ、共に喜んだ母の日！

今年の母の日のプレゼントは、3人それぞれから、甘いスイーツでした。私も今は95才になる義母の介



●毎年、母の日にありがとう



護でちよつと疲れ気味なので、心配してくれたのだろうか、そのお菓子を義母と食べながら、母としての喜びをかみしめました。

(品川区/K・K)

●ウォーキングをありがとう

知人に「新緑を求めて川崎を歩く」との横浜の地区活動に誘われました。距離は10km。アップダウンの多いコースで5時間近くも歩き通せるか心配でしたが、途中からバスに乗れるとのこと、主人と共に参加しました。

当日は前日と打って変わって曇天でウォーキング日よりです。おにぎり・お茶・お菓子と子供の遠足気分を履いて東横線日吉駅に集合です。各地より60代〜80代が50数名集まり、同年代の方がかりでしたので、これなら私でも大丈夫と安心しました。



商店街を過ぎるとすぐ坂道です。電車の中から陽当たりが良さそうだなと見ていました。実際に歩いてみると坂道のきついこと。あえぎながらようやく尾根道まで行き、尾根を境に横浜市と川崎市で、はるかかなたから山裾まで家はかりです。アップダウンの道で新緑と庭先に咲く花々に励まされながら進むと「え？こんなところの公園に」と縄文時代の貝塚古墳があり、海が近かったことに驚かされました。また、何の変哲もないただの丘と思っていると、埋蔵品も出てきた古墳とのこと。古代の人達がこの場所で生活し、今になら

がっていると思う、何やら不思議を覚えます。

物珍しさにキョロキョロ歩いてみると、何やら足元からズツズツと耳障りな音。疲れて足が上がらず靴を引かず歩いているのかと見ると、なんと数回しか履いていない靴底のゴムが剥がれかけているではありませんか！引っ張ってみても剥がれず、音と共に5時間かけて西武線の武蔵新城駅に到着しました。我が家まで靴底は無地で、1万1千歩のウォーキング会でした。

(横浜市/T・K)

●楽しいツアーをありがとう

花の便りも聞かれるようになるとうきょうきし、どこか出かけたくなったので、仲良し4人で一日バスツアーに参加しました。

最初の秩父羊山公園芝桜の丘は、秩父市街地を一望できる羊山公園にあります。武甲山を背景にした広大な敷地に40万株以上の芝桜が花を咲かせ、自然の織りなす花の絨毯が広がります。「ワーきれい」と写真を撮りまくり、時間までベンチに座り見とれていました。



羊山をおりる駐車場まで春の草花が咲き、カエルが鳴き、田舎育ちの私には子供の頃が思い出され、懐かしく感じました。山菜を買って、羊山を後にし、次は長瀬ライン下り。お天気も良く、時々水しぶきがかわか急流もあり、川が透き通る、きれいな水に心があらわれるようでした。

秘伝の田舎味噌に漬けた豚肉を、テレビでも放送された聞き購入。秩父の特産しゃくし菜漬けも。

次に小江戸川越。散策マップをいただいたいて、菓子屋横丁や蔵づくりの町並みをあちらのお店こちらのお店と楽しみながら、一日大満足。

このツアーを選んでくれたお友達にありがとう。

(豊島区/T・M)

●新一年生にありがとう

学校入学の頃、毎年交通安全週間地域ごとにテントをはって見守りをします。

近くに、幼稚園、小学校、高校二校、8時には学園通りになりますが、ゆとりを持って通学する子、ギリギリ走ってくる子にはこちらも心配でハラハラします。挨拶をして通る元気な子、その逆に元気がない子を見ると「どうしたの」と思わず声をかけてしまいます。とりわけランドセルが柔らかな日差しを浴び、キラキラ輝いて笑顔もキラキラなピカピカの新一年生を見かけるとなおさらです。小学校に入って一週間余りが経つがもう学校には慣れたかな、友達はできただろうか、親御さんでなくても気をもんでしまいます。



そんな時間帯もあつという間に過ぎ、学校のベルが鳴っています。みんな間に合ったかな。大きく見えるランドセルには、子どもたちの夢と希望が詰まっています。何よりも歩き慣れない通学路で、交通事故にあってはならないよう祈らずにはいられません。

(大田区/N・G)

● 身守り隊のおじいちゃん

ありがとう



「おはよう！」 「おはよう！」 娘を学校に送って行く途中、お馴染みの元気な挨拶に会えました。隣の住宅地にお住まいの「オジサン」で、定年退職をした後、自ら進んで通学路の横断歩道に立って、子ども達を見守ってくださっています。息子が小学生の頃からですから、かれこれ10年間、毎朝6時半から8時頃まで立ちっぱなし、声を掛け通しなので頭が下がります。

有り難いことに、きちんと横断歩道を渡る、信号が変わってから渡る、そして特筆すべきは渡った後に信号待ちで止まって待っているドライバーさんに対して、「ありがとうございます」と声を出してきちんとお辞儀をすることを教えてくださっていることです。「オジサン」のお蔭で、普段から挨拶をすることが習慣になり、我が学区では小学生を中心に道をすれ違う度に元氣な挨拶の声が行き交っています。ポケットマネーで、夏にはハーベキューを、冬はクリスマス会を開いてくださっています。失礼ながら「どうしてこんなにお世話してくださるのですか？」と伺ったことがあります。すると、「子どもは地域の宝だから」と一言。常人にはとても真似出来ない！と思えました。

(山武市／鶴川和宏さん)

● カーディガンが編み上手

姉からゆうパックが届いた。何だろうと思いついてみると、手編みの黒のレースのカーディガンが入っていた。姉は器用で、セーターやベストを編んでくれるが、今は夫の介護でそんな時間はないはず。忙しい姉がどうして贈ってくれたのかと思いついてみると、自分が習っている編み物の先生が編んだ作品とのこと。



姉も80才を超えているが、その先生は93才とのこと。今も現役で編み物教室で教えている。先生は「このカーディガンは1回しか着ていないが、糸をほどこいて、また編み直す」といふ話を聞き、もったいないと申し出た。それを私に贈ってくれたのだ。着てみると私にピッタリ。両手首と裾はやさしいさざ波のように三角の同じカットに編み込まれている。とてもオシャレ。背中には四角い模様があるところに入っている。どんなデザインにしても、バランスよく考えてありとても素敵。一針一針しっかりと、冷房の効いている部屋では羽織ったりできる。何より素晴らしいのは年を重ねてもこんな素敵なカーディガンが編めること。その先生と贈ってくれた姉に感謝ありがとう。

(目黒区／H・O)

● 外国人、日本の先生に

ありがとう

英会話に通っている。もう随分にな

るが中々上達しない。ヒヤリングはまあまあだが、思ったことが中々英語で出てこない。最近歳がせいか簡単な単語すらも出てこない。ブロークンな域を出ない。そんな訳で暫くサボっていたが、最近また意欲がわいてきて熱心に通っている。



時間も教室も先生も(日本人以外は)自分の都合に合わせて組めるのがこのシステム。日本全国にあるので旅先でも受講でき、ご当地シールがもらえる。都内にも沢山あるので出掛けたとき等途中下車して受講し、シールブックに貼って楽しんでる。レッスンはグループ、マンツーマンと様々選択でき、見知らぬ人達と一時英会話練習をすることも出来る。語学は継続と復習が大切とつくづく思う。そして受身ではないけないとも。

日本人の先生は不得手な文法を分かりやすく話してくれ、高校時代を思い出させてくれる。例えば仮定法過去の文型などは自分の錆び付いた頭を磨かざるを得ない。また外国人の先生たちは、実に多様で、同じテキストを使っている人も教え方が上手いなあと感じる人もいれば、早口でひたすら捲し立てる人もいる。皆さん、世界中からきているので何かと面白い。

(品川区／A・N)

【携帯 Deショット】

3~4世紀頃にはるるエジプトから渡来したという『ペニバナ』。末摘花(すえつむはな)と呼ばれ、口紅や染料の原料として栽培されてきた。古くから薬用に用いられ花からは染料や顔料が、種からは「べにばな油」が採れます。【花言葉】『包容力』『特別な人』『愛する力』『化粧』『装い』



●携帯電話の方はQRコードから →→→  
●パソコンの方は下記のURLから ↓  
<http://1039.seesaa.net/>  
●メールでの投稿は…  
[info@arigatou-mail.com](mailto:info@arigatou-mail.com)  
【編集・企画】株式会社ありがとう・不動産 編集部  
●株ありがとう・不動産HP <http://www.arigatou-1039.com/>



【原稿をお待ちしています。】

本誌は北海道友人から寄せられている「ありがとう」の思いを、俳句、短歌、詩、俳句、短歌、写真、絵画などを掲載します。作品は編集部まで送ってください。投稿の際は「たまゆら」をプレゼントさせていただきます。ご縁をつなぐ「たまゆら」をプレゼントさせていただきます。皆様からの投稿、ご意見、ご提案をお待ちしております。また、ご縁と感謝を伝えたい方が増えたい。ご縁と感謝を伝えては

